

4) 早期緑化帯における植栽種の生育・形成状況

(1) N-4.1

a) マント群落・ソデ群落

N-4.1 のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7-36、図 7.3-10 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、各地点ともに過年度において、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部におけるマント群落・ソデ群落が形成されており、今年度においても樹高、植被率とも維持されていた。以下に各調査地点の植生状況の推移を整理した。

北側は、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)では、草丈 1.7m、植被率 90%、出現種 18 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 80~90%、出現種 19 種であり、草丈の増加が確認され、草本類のススキが優占していた。

南東側は、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)では、草丈 1.8m、植被率 100%、出現種 18 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 100%、出現種 18~22 種であり、草丈の増加が確認され、草本類のススキが優占していた。

南側は、一時的に低木層の草本層の分化がみられたが、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)には、草本層の 1 階層に取り込まれ、草丈 1.7m、植被率 90%、出現種 36 種であった。今年度調査においては、草丈 1.8~2.0m、植被率 90~95%、出現種 36~39 種であり、僅かに草丈の増加が確認され、草本類のススキやコゴメスゲが優占していた。

西側は、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)では、低木層が高さ 3.0m、植被率 75%、出現種 6 種、草本層が高さ 1.5m、植被率 30%、出現種 31 種であった。今年度においては、低木層が高さ 3.5m、植被率 30~75%、出現種 4~9 種、草本層が高さ 1.5~1.7m、植被率 30~70%、出現種 19~29 種であり、低木層におけるホンバムクイヌビワやホルトノキ等の木本類の生育や階層分化の状況から他の地点に比べ、樹林地への遷移(マント群落の形成)が進行しているものと考えられた。

表 7-36(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1)

調査地	N-4.1																													
	北側														南側															
調査年月日	H23 6/10	H23 9/27	H24 1/19	H24 5/30	H24 9/27	H24 11/13	H25 1/21	H25 4/24	H25 9/28	H25 11/15	H26 1/17	H26 6/4	H26 8/30	H26 11/14	H27 1/27	H23 6/10	H23 9/27	H24 1/10	H24 5/30	H24 9/27	H24 11/13	H25 1/21	H25 4/24	H25 9/26	H25 11/13	H26 1/17	H26 6/4	H26 8/30	H27 11/14	
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ (m)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
低木層(S)の種数率 (%)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
低木層(S)の出現数 (種)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.3	1.3	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	2.0	2.0	2.0	2.0	0.25	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	
草本層(H)の種数率 (%)	15	50	60	75	75	80	80	80	80	100	80	80	80	80	80	10	70	80	95	95	95	95	95	95	100	100	100	100	100	
草本層(H)の出現数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	19	19	19	19	18	25	27	19	23	24	18	23	18	16	18	21	18	20	22
出現種数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	19	19	19	19	18	25	27	19	23	24	18	23	18	16	18	21	18	20	22
低木層	S.1 ホソバムクシキブ S.2 ホルトノキ(モガシ) S.3 キンゴウカン(ギンネム) S.4 ススキ S.5 オオムラサキシキブ S.6 リュウキュウイチゴ S.7 ヤンバルアカメガシワ S.8 ノボタン S.9 リュウキュウチク S.10 ショウベンノキ S.11 フカノキ S.12 エゴノキ S.13 リュウキュウマヌスズクサ																													
草本層(H)	H.1 リュウキュウチク(群集株) H.2 ススキ H.3 ホシダ H.4 コゴメダ H.5 アカメガシワ H.6 ハイシロノセシダ H.7 エダチヂミザサ H.8 ホソバムクシキブ H.9 ケホシダ H.10 キンゴウカン(ギンネム) H.11 ホウロウイチゴ H.12 オキナワサルトリイバラ H.13 リュウキュウテカカズラ H.14 リュウキュウバライチゴ H.15 タブノキ H.16 シロダモ H.17 オオムラサキシキブ H.18 カキバカンコノキ H.19 アノマタケラシ H.20 シマズセンリョウ H.21 リュウキュウマヌスズクサ H.22 イヌビロ H.23 カクレミノ H.24 ヒメユズリハ H.25 リュウキュウチク H.26 サキシマフヨウ H.27 ハゼノキ H.28 フカノキ H.29 ホルトノキ(モガシ) H.30 スダジイ(イタジイ) H.31 リュウキュウイチゴ H.32 ゴンズイ H.33 コンロンカ H.34 エゴノキ H.35 シラタマカズラ H.36 ツボクサ H.37 マンリョウ H.38 インシキヤリノバイ H.39 クチナン H.40 ナウシロイチゴ H.41 トベネ H.42 コバナヒメハギ H.43 H.44 シロネギズ H.45 キイマ H.46 ヒメヒレモン H.47 ショウベンノキ H.48 シバヤブニッケイ H.49 モクダマバナ H.50 イスノ H.51 トキワカモメヅル H.52 ヒカゲゴ H.53 オオノミ H.54 コバンモ子 H.55 クロミ/オキナワズメウリ H.56 ヤマダマ H.57 カタバシ H.58 ヘクソカズラ H.59 タイミンタチバナ H.60 シマサルナシ H.61 ササクサ H.62 クロガヤ H.63 オニタビラコ H.64 タカサゴウノリナ H.65 サネカズラ H.66 ノボタン H.67 ナガバハリフタバ H.68 リュウキュウマツ H.69 ウスベニニガナ H.70 ビナンカズラ H.71 ヤンバルアカメガシワ H.72 マルバダケハギ H.73 キダチコシロソウ H.74 ハナガサノキ H.75 シシアカチ H.76 ツボクサ H.77 ササバサンキライ H.78 ナガバカニクサ H.79 コシダ H.80 モチノキ H.81 H.82 ソメノカズラ H.83 カラスキ(サンキライ)																													

注) 結果欄の網掛は過年度結果を示す。



図 7.3-10 マント群落・ソデ群落の推移 (N-4.1)

b) 無障害物帯

N-4.1の無障害物帯の生育・形成状況を表7-37、図7.3-11に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、その環境保全措置を実施できたと考えられる。以下に各調査地点の植生状況の推移を整理した。

北側は、昨年度の最終調査(平成26年1月)では、草丈1.2m、植被率90%、出現種24種であった。今年度調査においては、草丈1.6~1.8m、植被率50~100%、出現種15~23種であり、草丈の増加が確認され、草本類のススキが優占していた。

南東側は、昨年度の最終調査(平成26年1月)では、草丈1.0m、植被率90%、出現種18種であった。今年度調査においては、草丈1.5~2.0m、植被率95~100%、出現種17~23種であり、草丈の増加が確認され、草本類のススキが優占していた。

南側は、昨年度の最終調査(平成26年1月)では、草丈1.3m、植被率100%、出現種19種であった。今年度調査においては、草丈1.5m、植被率100%、出現種19~22種であり、草丈の増加が確認され、草本類のススキが優占していた。

西側は、昨年度の最終調査(平成25年1月)では、草丈0.2m、植被率100%、出現種9種であった。今年度調査においては、草丈0.2~0.7m、植被率100%、出現種7~10種であり、草丈の増加が確認され、過年度に芝張りされた草本類のシバが優占していた。

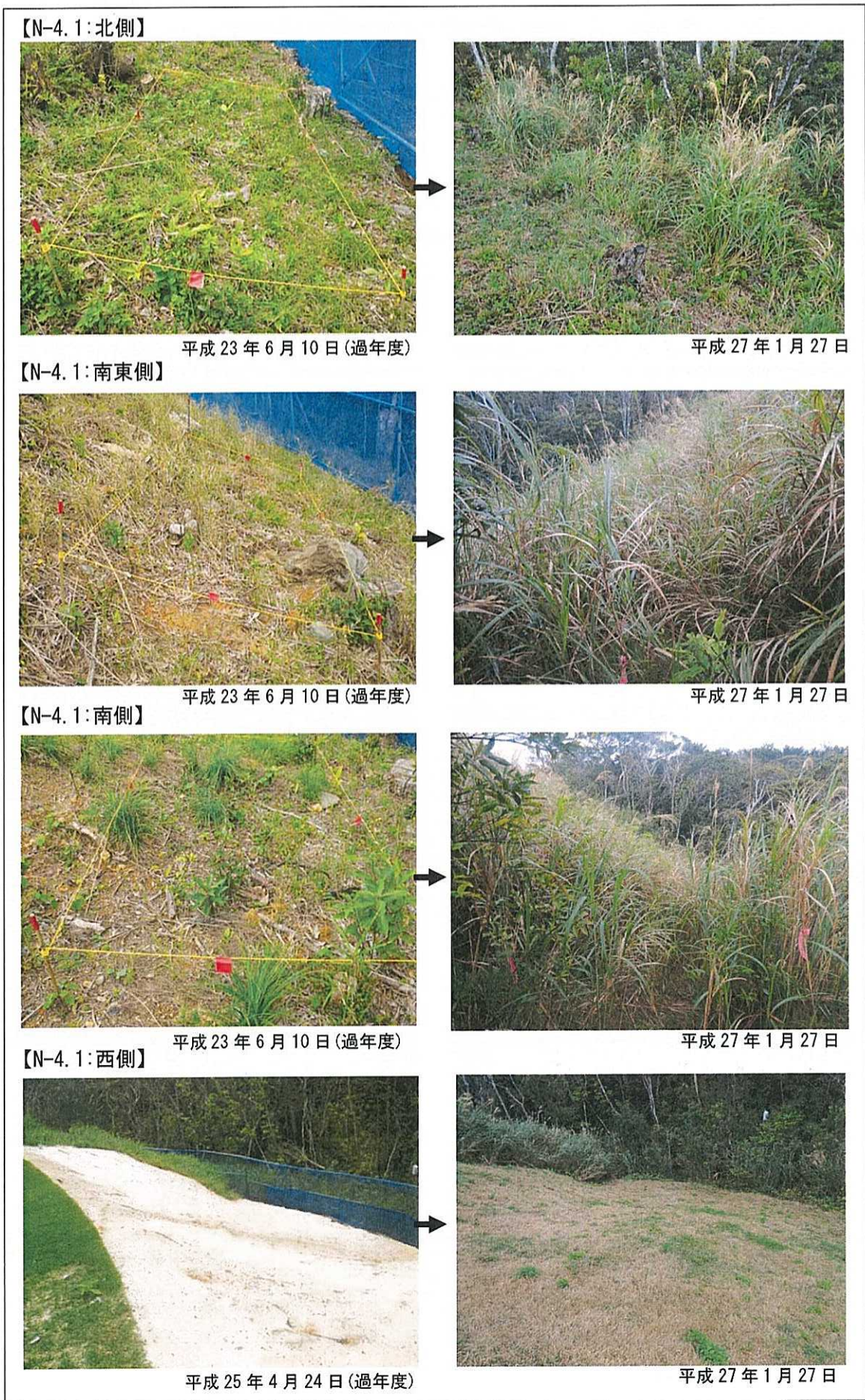


図 7.3-11 無障害物の生育状況(N-4.1)

(2) N-4.2

a) マント群落・ソデ群落

N-4.2のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7-38、図 7.3-12 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、既存のマント群落・ソデ群落が存在する東側においては、継続したマント群落・ソデ群落の形成が確認されたものの、リュウキュウチクの植栽を実施した西側においては、植栽後間もないため、評価図書で示したような発達したマント群落・ソデ群落の形成には至っていない。以下に各調査地点の植生状況の推移を整理した。

東側は、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)では、3 階層に分化がみられ、亜高木層が高さ 3.5m、植被率 10%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 80%、出現種 3 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25%、出現種 14 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 3.5m、植被率 10%、出現種 3 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 80%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 30~40%、出現種 15~17 種であり、草本層の植被率の増加が確認され、低木層のリュウキュウチクが優占していた。

西側は、昨年度の最終調査(平成 26 年 1 月)では、2 階層に分化がみられ、低木層が高さ 2.5m、植被率 40%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 10%、出現種 15 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.5m、植被率 40%、出現種 2~3 種、草本層が高さ 0.5~0.6m、植被率 10~45%、出現種 22~30 種であり、草本層の植被率の増加が確認され、リュウキュウチクが優占していた。

表 7-38 マント群落・ソデ群落の植生調査結果 (N-4. 2)

調査地	N-4.2												-
	東側						西側						
調査年月日	H25 11/30	H26 1/28	H26 6/5	H26 8/28	H26 11/12	H27 1/27	H25 11/30	H26 1/28	H26 6/5	H26 8/28	H26 11/12	H27 1/27	
海拔 (m)	169	169	169	169	169	169	167	167	167	167	167	167	
方位	E	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	3	3	3	3	3	3	・	・	・	・	・	・	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
亜高木層(T)の高さ (m)	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	・	・	・	・	・	・	
亜高木層(T)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	・	・	・	・	・	・	
亜高木層(T)の出現数 (種)	3	3	3	3	3	3	・	・	・	・	・	・	
低木層(S)の高さ (m)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
低木層(S)の植被率 (%)	80	80	80	80	80	80	40	40	40	40	40	40	
低木層(S)の出現数 (種)	3	3	3	3	4	4	2	2	3	2	2	2	
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	30	30	30	40	10	10	10	20	40	45	
草本層(H)の出現数 (種)	13	14	15	17	17	17	15	17	22	30	28	27	
出現種数 (種)	17	16	17	19	20	19	17	19	23	30	29	28	出現回数
亜高木層													
T.1 ホルトノキ(モガシ)	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	・	・	・	・	・	・	6
T.2 トベラ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	・	・	・	・	・	・	6
T.3 リュウキュウチク	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	・	・	・	・	・	・	6
低木層													
S.1 リュウキュウチク	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	12
S.2 ササバサキライ	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
S.3 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
S.4 リュウキュウチク(移植株)	・	・	・	・	・	・	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	6
S.5 インドシャリンバイ	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	+	+	6
S.6 リュウキュウテイカズラ	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	・	1
S.7 シロダモ	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	1
S.8 トキワカモメツル	・	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	1
草本層(H)													
H.1 シラタマカズラ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+	+	+	+	12
H.2 ササクサ	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	12
H.3 トキワカモメツル	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	11
H.4 タフノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10
H.5 アオノクマタケラン	+	+	+	+	+	+	・	+	+	+	・	・	9
H.6 ケテイカズラ	+	+	+	+	+	+	・	・	+	+	+	+	9
H.7 リュウキュウチク	・	+	+	+	+	+	・	・	+	+	+・2	+・2	9
H.8 オキナワサルトリイバラ	・	+	+	+	+	+	+	+	+	+	・	・	8
H.9 アカメガシワ	・	・	・	・	+	+	+	+	+	+	+・2	+・2	8
H.10 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	・	・	+	+	・	・	7
H.11 オオバチヂミザサ	・	・	・	+	+	+	・	・	+	+	+	+	7
H.12 スダジイ(イタジイ)	2・3	2・3	3・3	3・3	3・3	3・3	・	・	・	・	・	・	6
H.13 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
H.14 シロダモ	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
H.15 タイワンアキグミ	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
H.16 イタビカズラ	+	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	6
H.17 コシダ	・	・	・	・	・	・	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	6
H.18 ホシダ	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	1・2	2・2	6
H.19 シンバヤブニッケイ	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	+	+	6
H.20 リュウキュウテイカズラ	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	+	+	6
H.21 トベラ	・	+	+	+	+	+	・	・	・	・	・	・	5
H.22 クロミノオキナワズメウリ	・	・	・	+	・	・	・	+	+	+	+	・	5
H.23 リュウキュウイチゴ	・	・	・	・	・	+	・	・	+	+	1・1	1・1	5
H.24 オオバギ	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	+	+	5
H.25 エダウチヂミザサ	・	・	・	・	・	・	+	+・2	+	+	+	+	4
H.26 イヌビワ	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	+	4
H.27 コゴメスゲ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	4
H.28 ゴンズイ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	4
H.29 ケホシダ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	4
H.30 エゴノキ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	4
H.31 ハナガサノキ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	4
H.32 リュウキュウマツ	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	+	3
H.33 ハゼノキ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	1・1	+	3
H.34 ナガバカニクサ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	3
H.35 コバナヒメハギ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	3
H.36 ホラシノブ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	3
H.37 ホルトノキ(モガシ)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	+	+	3
H.38 サカキカズラ	・	・	・	・	・	・	+	+	・	・	・	・	2
H.39 リュウキュウモチ	・	・	・	・	・	・	+	+	・	・	・	・	2
H.40 ムベ	+	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
H.41 ギョクシンカ	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・	1
H.42 インドシャリンバイ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	1
H.43 オオバイヌビワ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	・	1
H.44 リュウキュウバライチゴ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	1
H.45 ススキ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	1

注) 結果欄の網掛は過年度結果を示す。

【N-4. 2: 東側】



平成 25 年 11 月 30 日 (過年度)



平成 27 年 1 月 27 日

【N-4. 2: 西側】



平成 25 年 11 月 30 日 (過年度)



平成 27 年 1 月 27 日

図 7.3-12 マント群落・ソデ群落の推移 (N-4.2)